

祝 成人

竜丘書道クラブ書



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,900人
男子 3,357人
女子 3,543人
世帯数 2,530戸
(28年12月末現在)

一月八日、午後から大雪が降り積もるあいにくの天気ではありましたが、竜丘公民館大ホールに於いて、平成二十八年度竜丘地区成人式が五十八名の新成人を迎え、盛大に開催されました。成人式を迎え、それぞれに心に期するものがある中、実行委員の四人の新成人にも決意を寄せてもらいました。



式典始めの下平公民館長の挨拶では「義務と責任を持って、若いうちに失敗は多くして下さい。失敗から学ぶ事が多いものです。」と新成人へ語りかけました。

来賓挨拶の熊谷自治会長、中島市議会議員祝辞では、「リニア開通は丁度十年後、皆さんは三十歳で働き盛りの頃、これからの時代の担い手に期待しています。」とエールを送りました。

新成人代表の上松昌幸さんが「感謝の気持ち大切に先輩方の伝統を引き継いでいきたい。」と語り、スノーピーの名言から引用して「今まで安心は与えられていたもの。これからは与えていくものなんだよ。」という言葉で挨拶を締めくくり、第一部が終了しました。

第二部では、まず女子短大の方々のよさこいソーランが披露されました。続いて実行委員の磯貝さんと三石さんの司会で思い出ビデオが上映され、小学校の運動会の写真では笑い声や歓声が上がり、懐かしい思い出が甦ってきました。来賓で恩師の大道(旧姓小山)先生は祝辞で、八年前出会った頃のエピソードと「いつも皆さんのエネルギーギッシュな元気をもらっています。本日は成長した姿を見て感激しています。」と話されました。五年生時の合奏も上映され、ピアノ力を上下に動かしなが



ら演奏する姿が多く、笑いを誘いました。また、緑中校の実行委員が合同で制作したビデオレターでは中学校時代の恩師の熱い言葉やユニークな言葉などが上映され、それぞれに残るものになったと思います。

第三部の祝賀会には、おいしいほづらザの皆さんの料理や手作りケーキ、野楽路の皆さんによる手打ちそばが振舞われました。各テーブルでは数年ぶりの再会で昔話に花を咲かせた事でしょう。

ステージでは小林武志さん、瀧田隆一さん、上松昌幸さん、原良輔さんがバンドで登場し、迫力ある演奏を披露。曲に合わせて手拍子や歓声など、大いに盛りまりました。

祝賀会終了後には、雪が降り積もる会場駐車場で、長野原煙火会の皆さんによる「祝成人」の仕掛花火などが披露されました。雪の降る中での花火は格別で一人一人の心に残る成人式になった事でしょう。



雪景色をバックにアツい演奏

この世に生を受け、早二十年、少年から大人へと変わる準備をしてまいりました。これから成人となり、今まで愛情をもって育ててくれた両親や学校の先生方に感謝し、少しずつでも恩返ししていきけるように努力していきたい所存です。

これまでとは違い一人の社会人として自覚を持ち、責任のある行動をとってまいります。

僕は四月からサービス業で働きますが、お客様一人ひとりの気持ちをしっかりと考えた上で行動し、満足してもらいたいと思っています。ある意味、少年から大人へと変わるということでは、新しい人生の道が始まるということかもしれません。ここから始めましょう。一から：



関島 彰 宏 (駄科)



瀧田 隆 一 (桐林)

成人式実行委員を 経験してみて



森 本 拓 真 (桐林)



磯貝 朋 香 (長野原)

このたび私たちは成人式を迎えることができ、大変うれしく感じています。晴れて「大人」の仲間入りをすることができました。私は現在、地元の専門学校の三年に卒業し、四月からは社会人の一員になります。不安な気持ちもありますが、今は社会人として働くことができるといふ期待の方が大きいのです。

私をここまで大きく育ててくれた両親をはじめ、友人など全体的に感謝の気持ち一杯です。今までも世話になった方々に少しでも恩返しできるような大人になれるように努力していきたいです。

日本経済もトランプ就任の期待感から株価も一萬九千円台に復活し、改めて影響力が強いことを感じざるを得ません。何かをやってくれるだろうとの期待も大きく、その期待が今回のトランプ大統領誕生の原動力と思われるが、今後の影響等、全てが未知数です。変わって、地元では、リニア工事の話題が多くなってきました。特に大鹿村を巡る記事をよく目にします。駅ができる飯田市民としては開通後の期待は高まる一方ですが、工事車両や残土問題等の課題が重くのしかかる大鹿村の立場を考えると複雑な思いです。JRには地域への特段の配慮をお願いしたいところです。

リニア開通まであと十年ですが、これだけ世の中が目まぐるしく動く時代、トランプ大統領誕生に見るように、何が起るかわかりません。

世の中が大きく変化する時代にあつて、公民館活動は変わることなく、地域を見つめ直し、守るべき文化を守りながら、身近な課題を少しずつ解決し、来るべき新しい時代に備えることももちろん大切ですが、時には大胆な提案や改革も必要かな？

私は小学生の頃からパソコンに興味があり、現在はコンピューターに関する知識を身につけるために、地元の専門学校に在学しています。四月からは地元の製造系の企業で働きます。専門学校で学んだ知識を活かし、業務を効率化していきたいです。

仕事をする中で、目標を掲げ、それに向かって努力することは勿論ですが、社会人としての自覚を持ち、節度ある行動を心掛け、周囲から必要とされる人間になれるように努力していきたいと思っています。

また、人との出会いを大切に、有意義な生活を送ってまいります。そして、家族をはじめとし、今までも世話になった方々への感謝の気持ち忘れずに生活していきたいです。

私は今、飯田女子短期大学で栄養士の資格を取るために勉強に励んでいます。病気の方向を対象にした献立やライフステージごとの献立作成など、対象者によって栄養士の制限があり、大変ではありますが、友人に支えられ、頑張っています。

この春から栄養士としてではなく、一般企業へ就職しますが、これまで短大で学んだことを忘れず、家族の健康維持のために栄養バランスの良い食事を提供するなど、栄養士の資格を生かしていきたいと思っています。また、内定を頂いた会社では、自分の持っている力を一杯に発揮し、貢献していきたいと思っています。

満員御礼 飯田 OIDE 長姫高校地域人教育 クリスマス会

十二月十日に飯田OIDE長姫高校商業科の生徒七名の主催で親子工作クリスマス会が竜丘公民館にて行われました。当日はリース・スノードーム・キャンドルを作成しました。

参加者希望者が予想以上の百名近い人数になり、学年ごとに時間を区切ったの参加をお願いするほどの大盛況でした。

参加した児童はリース・キャンドル・スノードームの中から二つを選択し、高校生のお兄さんやお姉さんに丁寧に作り方を教えてもらったり友だち同士教えあったりしながら、楽しく作成することが出来ました。



ツリーと共に

竜丘に楽しいイベントがある事を知った。竜丘を好きになって、その輪に加わって行きたいと思ひます。

竜丘での活動を通じて、自分たちに出来る事には限りがある事を痛感しました。沢山の人の協力があつて初めて何かが出来ます。これからも積極的に往復5kmの

で大好評でした。流れてくるのを待つてゐる子供たちの姿がとても可愛く、嬉しくもありました。その中で子供たちが笑顔になれば大人も自然と笑顔になることに気がつきました。

そして、もう一度子供たちの笑顔が見たいと思ひ、十二月十日にリース・キャンドル・スノードームを親子でつくれるクリスマス会を開催しました。

竜丘に楽しいイベントがある事を知った。竜丘を好きになって、その輪に加わって行きたいと思ひます。



一年間活動してみて

桐林 宮井 さくら

私達は地域人教育という授業の中で、一年間竜丘地区で活動してきました。

九月には水辺の楽校のイベントで、流しそめんをやらせていただきました。思いつきでラーメンを流したところ、大人から子供まで大盛況でした。

そして、もう一度子供たちの笑顔が見たいと思ひ、十二月十日にリース・キャンドル・スノードームを親子でつくれるクリスマス会を開催しました。

竜丘に楽しいイベントがある事を知った。竜丘を好きになって、その輪に加わって行きたいと思ひます。

寒さを吹き飛ばせ！ 冬季スポーツフェスティバル



エイッ！

十二月十一日(日)に、竜丘の冬季スポーツフェスティバルが開催されました。竜丘小学校の体育館にて開会式を行い、公民館長の挨拶や注意事項説明、準備体操をした後、ワンバウンドふらばーのバレーボールでは、各地区チーム共に、楽しく素晴らししました。

しいチームワークで、熱戦を繰り広げました。

囲碁ボールでは、各ブロックごと接戦を繰り広げ、笑いあり、駆け引きありで和気あいあいと競技を楽しんでいました。

スポーツ吹矢では、静寂の中で矢が的に当たる音が響き、時折的中心に矢が当たると歓声が沸いていました。

閉会式は、全部の種目が時間内に終了し、体育館で全体で行うことが出来ました。

試合結果は、ふらばーのバレーボールでは、男子優勝時又、女子優勝桐林となりました。囲碁ボールでは、Aブロック優勝時又、Bブロック優勝時又、Cブロック優勝時又と三ブロックとも時又が優勝をさらう結果となりました。スポーツ吹矢では、一回目は駄科が一位となり、二回目は時又が一位となりましたが、総合優勝は長野原となりました。

怪我等もなく、皆さん楽しく競技をされ、日頃の運動不足を解消されている様でした。

【優勝チーム一覧】

ワンバウンド ふらばーのバレー		囲碁ボール			スポーツ 吹き矢
男子の部	女子の部	A ブロック	B ブロック	C ブロック	
時又分館	桐林分館	時又分館	時又分館	時又分館	長野原分館



よく狙って



ナイスショット！

ニューイヤークンサート

「素晴らしい音楽」に満たされたひととき

正月気分も抜け、寒さ厳しい大寒も過ぎた一月二十二日(日)、ニューイヤークンサートが竜丘公民館大ホールで開催されました。

準備と設営は、文化スタッフ・分館の部長、副部長他二十数名の皆さんにより運営されました。

公民館長挨拶のあと、時又保育園の二十二名による元気なマーチングで、「Hello」と「エレクトリカルパレード」の演奏で幕開けとなりました。

続いては、駄科の歌と踊りの会の「駄科音頭」、信州飯田岳風会竜丘支部の詩吟とスムーズな進み具合です。大人の学校のハーモニカクラブが演奏した「ドレミの歌」と「古城」では、会場から歌声の参加もあり、ハーモニカの郷愁を抱かせる音色に、大勢のため息が聞こえるような空気に会場は包まれました。

次の鈴岡太鼓は、和太鼓の演奏が、心と体を揺るが



オリジナル曲を披露「ゆうがお」

「We are the world」は、体と心と夢を一杯に、心を込めた演奏と会場の拍手が一体となり、熱気で体が突き動かされました。

Gストリングス

スズ姫は、小学生六名による大正琴の演奏でした。

木下アンサンブルのピアノ連弾は、兄妹・親子による二名及び三名連弾と珍しい演奏でした。

リコーダーFebのメロディーは、優しく心に残る響きでした。

竜丘コーラスはきれいな



大観衆もノリノリ「竜丘小ブラスバンド」

ハーモニが広がり、優しい歌声です。

緑ヶ丘中学校の吹奏楽部は、日頃の練習の成果を発揮して、歌に踊りに演奏会場一体となるトキメキの一時でした。

以上十六団体の演奏が新春を彩り、公民館活動の息吹を堪能できました。

「ウォーキングツアー」 旅は犬づれ世は出会い

旅は犬づれ世は出会い

その人の言葉は力強く、印象深いものでした。「百聞は一見にしかず」時又の原哲夫さんがおっしゃった言葉です。全員の原さんは現在六十八歳で、三十代で病気のため視力を失いました。

しかし原さんは耳から入る情報、直に触る事、すなわち歩いて確かめる、体を通して感じる楽しさ、又パートナーの首導犬のガイダ君と一緒に歩く事がストレス解消になっていると話してくれました。原さんはガイダ君と一緒に毎朝川路駅まで往復5kmの

ウォーキングをしています。そんな中で昔歩いた所を歩きたい思いがこみ上げて来たそうです。天竜川の流れて沿って県道飯田富山佐久間線、旧秋葉街道、国道一五二号線などを経て遠州灘まで歩くことと決意しました。たまたま竜丘歩こう会で知り合った長野原の熊谷龍司さんの支援を受けて一緒に歩いてもらい、去年の二月から月二回のペースで一回十kmぐらいずつ進めて来ました。そして第十六回目に当たる十二月十二日、遂に遠州灘河口まで完歩しました。

今回は秋の十月二十四日に浜松市天竜区横山町から同区船明ダムまでのおよそ九kmの区間を同行した時の様子をお伝えします。

JR飯田線で相月駅まで行き、国道一五二号線を横山小学校前まで遠鉄バスに



愛犬ガイダ君と颯爽と



目印のペナントも自主制作

音に敏感な原さんにしかわからない感覚に感じました。路面の状態、坂の微妙な上り下りも歩いて足裏でわかると言います。帰路で水窪町の旧道を散策した時の事、地元のご婦人や小学生に出会い、ガイダ君についての質問をきっかけに、飯田から遠州灘を目指して歩いている事を話して話されていました。

ペナントの合言葉「ウォーキングツアー、旅は犬づれ世は出会い」をモットーに、出会いからの喜びを励みに更なる挑戦を続ける原さんを応援したいと思います。

追記

第三六号掲載の「駄科区の一五〇年 自治のあゆみ 明日に向かって」発刊の記事において、執筆者のみなさんのお名前が漏れていましたので、ご紹介いたします。

岩下 勇生さん
小島 政直さん
三浦 哲治さん
下平 洋雄さん
下平 隆司さん
(全5名)

あいにくの寒さと曇り空の中、出席者と観客総数は二百名を越え、会場は熱気で一杯となり、コンサートを人、声援を送る人で興奮がみえます。

今日の一日は心のときめく楽しい日となりました。